

意見書案第5号

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書案を提出するについて

宇治市議会会議規則第14条第1項の規定により、見出しの議案を別紙のとおり提出する。

令和5年6月30日提出

提出者 宇治市議会議員 角 谷 陽 平

同 大 河 直 幸

同 中 村 麻伊子

同 稲 吉 道 夫

同 秋 月 新 治

同 佐々木 真由美

宇治市議会議長 松 峯 茂 様

## 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるとも言われている。

よって、政府におかれては、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づき定期接種化するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年6月 日

京都府宇治市議会議長 松 峯 茂

内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様
総 務 大 臣	松 本 剛 明 様
財 務 大 臣	鈴 木 俊 一 様
厚生労働大臣	加 藤 勝 信 様